

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成 20年 9月 16日

## 【評価実施概要】

事業所番号	0172901589		
法人名	有限会社 ときわ企画		
事業所名	グループホーム 陽		
所在地	北海道旭川市9条通8丁目2486番地の25 (電話) 0166-21-9585		
評価機関名	タンジェント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成20年9月8日	評価確定日	平成20年9月24日

## 【情報提供票より】(平成20年8月25日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)16年4月1日		
ユニット数	2ユニット	利用定員数計	18人
職員数	20人	常勤	14人, 非常勤 6人, 常勤換算 10.2人

### (2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り		
	4階建ての 2~3階部分		

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	20,000・25,000円	その他の経費(月額)	18,000~24,000円	
敷金	有(円) 無			
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円) 無	有りの場合償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり		円	1ヶ月当たり

### (4) 利用者の概要(8月25日現在)

利用者人数	17名	男性	5名	女性	12名
要介護1	3名	要介護2	5名		
要介護3	1名	要介護4	6名		
要介護5	2名	要支援2			
年齢	平均 80.89歳	最低	62歳	最高	96歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	佐藤内科医院・山田歯科医院
---------	---------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

グループホーム陽は、「地元住民と共に社会福祉に貢献、利用者の健康と安らぎを」という運営理念のもと、各フロアの特徴を出しながらそれぞれの管理者が中心となり認知症ケアに日々取り組んでいる。市内中心部で花壇や菜園を作るスペースはないが、玄関周りにプランターを並べ、サンルーフには花や野菜が育てられている。廊下には職員が撮ってきた自然あふれる写真がフォトギャラリー風に飾られ、またリビングには見事なタペストリーもあり、和やかな雰囲気が感じられる。

## 【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 前回評価では、地域の人々との交流やグループホームの機能をより一層地域に還元について提案があげられていましたが、現在、具体的検討の方向性を確認する段階である。また今月から運営推進会議を開催するなどし、よりグローバルな視点で点検・改善に努めている。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 自己評価は、全ての職員が参加して行われるとは言えないが、取り組んでいきたい項目は、既に取り組みを開始している。また今後は外部評価の結果を運営推進会議、家族に報告される取り組みも計画されている。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 公共施設、商業施設が多い為、運営推進会議については開催できずにはいりましたが、今月には開催が予定されています。メンバーは町内会役員・民生委員・利用者家族・その他で構成し、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう運営推進会議で働きかけを行う計画がされています。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 家族の来所が多い日曜日等には管理者は不在にせず、家族との意見交換やホームの活動報告や運営についての話し合いなど日常的に行われています。また、意見箱を設置して意見や苦情を表せる機会を設けています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 市内中心部で商業施設・ビジネス街でもあり、地域住民が少なく地域との連携が難しい面もあるが、今月に開催される運営推進会議の委員に協力を得るなど、地域との連携が行われるよう現在、真摯に取り組んでいる様子がうかがえた。

## 2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	運営者は「地元住民とともに社会福祉に貢献する」という経営理念を掲げており、利用者が地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えるサービスとして、職員間で共有されている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	ユニットとしての理念を職員間で作成され、各階エレベーターの前やリビングに掲示されているが、入居者、家族、来訪者には、けして見やすいとは言えず、また分かりやすいとは言えない。		入居者・家族・来訪者にも内容が分かりやすく、見やすい場所への掲示が望まれます。
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	公共施設が多く、また市内中心部のビジネス街でもあるため、住民が少なく地域との連携が難しい面もあるが、今月に開催される運営推進会議では委員の協力を得るなど、地域との連携が行われるよう取り組んでいる様子がうかがえる。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回の評価結果は職員には伝わっており、改善の機会と捉えている。今後は個別的ケアを分析するうえでもこれらの評価結果が活かされるよう職員間でも話し合っている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>公共施設、ビジネス街に位置しているため、運営推進会議については開催できずにいたが、今月には開催の予定。メンバーは利用者、家族、町内会役員、民生委員、その他施設長及び管理者で構成され、現在取り組んでいる。</p>	○	<p>今後は、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう、運営推進会議で働きかけを行う計画がされています。</p>
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>事業所として市との関わりの重要性も理解し、必要時に管理者は市担当者のところに向き、連携を図るなどサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
<p><b>4. 理念を実践するための体制</b></p>					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>家族が面会等で来所の折りには、その都度利用者の近況を伝えている。また工夫を凝らした個別毎の「たより」を送付し、信頼関係の構築につなげている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族の来所が多い日曜日など管理者は極力、不在にせず気軽に会話ができる雰囲気を作り上げている。また、苦情等の受付窓口を明確に掲示し、意見箱を設置するなど意見や苦情を表せる機会を設けている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>管理者・施設長は職員の離職する状態を回避するためにコミュニケーションを重視し、働きやすい環境づくりに努め、離職などで利用者に影響を与えないように配慮する取り組みをしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>グループホーム協議会・地域包括支援センター等の研修会に積極的に参加している。また資格にも挑戦できるよう勤務状態を考慮し、職員への応援・育成に努めている。</p>		<p>新しい職員に対しては業務OJTなどの職場内研修の実施が期待されます。</p>
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>施設長・管理者がグループホーム協議会などで同業者との交流を行い、情報を職員間で共有するなど、ケアサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>「なじみの暮らしの継続」を目指したグループホームである。入居前には利用者・家族の見学などで不安を解消する取り組みや、ホームの雰囲気に馴染めるよう利用者・家族と相談しながら、サービスを開始している。</p>		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>「暮らしの中での心身の力の発揮」を理念に掲げ、少しでも出来ることを発見し、可能性を生かし、学び合う関係を築いている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>職員が利用者・家族に丁寧な声かけを行い、本人の気持ちをより深く知ることができるようそれらの思いや、毎朝仏壇にご飯を供えるなど本人の希望や意向を尊重した取り組みがされている。</p>		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>入居者一人ひとりに担当職員を決め、定期的に評価・見直しが行われている。また家族と連携を取りながら本人にも話しを聴き、要望を出してもらうなど介護計画に反映されている。</p>	○	<p>センター方式を全職員参加のもと、順次取り入れるよう計画されている。</p>
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>基本的に3ヶ月毎と状況の変化に応じ随時の評価・見直しが行われている。日常の変化においても本人・家族・担当職員とで話し合いをするなどし、現状に即した介護計画の見直しも行っている。</p>	○	<p>ヒヤリハットの活用と事故報告書の再考をするなどし、それらを活かす取り組みに期待します。</p>
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>地方の家族状況などに応じて、食事提供や宿泊などを気軽に受け入れ、触れ合いの場を確保している。また通院の支援や本人の要望などにも対応されている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	かかりつけ医の受診支援 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	利用者それぞれの主治医との連携できる体制が確立されている。また利用者をよく知る看護師が常勤しており、利用者の状況変化などについても適切な医療が受けられるよう支援されている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合や終末期のあり方については本人・家族の意向を確認した上で医療機関と連携を密にし、職員間で共有されている。		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者一人ひとりの誇りやプライバシーを尊重した声かけが行われ、誘導の際にも配慮されている。また面会簿からカード形式に変更するなどの個人情報保護にも努めている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者一人ひとりの体調に配慮しながら、本人の気持ちを大切に、それぞれのペースで生活できるよう支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	一人ひとりの好みを把握した食事づくりがなされ、理念の一つでもある「少しでも出来ることを発見し、可能性を生かす」ため、できることの準備などにも参加されている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	行事や職員体制で、入浴がゆったりと楽しめる状況に欠ける日も生じてるが、タイミングを見計らい支援している。	○	今後は利用者の希望に応じ、入浴を楽しんでもらえるよう計画されている。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者一人ひとりの生活歴が把握され、観葉植物を育てたり、調理の準備など「本人ができること」への生活の支援がされている。また行きつけの美容室に同行するなどの支援もされている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	買い物、散歩、花見や温泉入浴、花菜里ランド、いちご狩りや時には海までドライブへ行くなど、戸外に出かけられるよう支援している。	○	今後は利用者の要望を把握し、冬期間にも外出ができるような支援が望まれる。
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	基本的に日中は鍵を掛けていないが、建物の構造上と交通量が多いため、家族に理解を得て事務所の職員が不在時には施錠している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>自動火災報知機が設置され、自衛消防訓練も実施している。</p>		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事や水分の摂取量が記録されている。また栄養状態に応じた補助食品の提供など個々に応じた対応がされている。</p>		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居間では広く作られた窓からの採光が明るく、サンルームには花や野菜等が育てられ楽しむことができる。壁には職員が作られたタペストリーや風景写真をギャラリー風に飾られ、居心地良く過ごせる共有空間になっている。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入所の際は使い慣れたものを持ち込んでもらい、安心して過ごせる場となっており、仏壇や観葉植物など利用者の希望に沿い、また安全面にも配慮された居室づくりがされている。</p>		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。